

残暑お見舞い申し上げます。今年も厳しい暑さが続きました。皆様はどのような夏休みを過ごされましたでしょうか。2学期がスタートしました。ひと夏を越えると、子供たちもいろいろな成長を見せることが多いです。子供たちから夏休みの思い出を聞くことが楽しみです。

各校特別支援教室は、一人一人のニーズ、願い、学び方に応じた指導の方法や内容の工夫、そして「心のよりどころ」としての役割等を、最大限果たせるように努めてまいります。どうぞよろしくお願ひいたします。

2学期もよろしくお願ひします「高四小エリア」特別支援教室の教職員紹介

2学期から各校特別支援教室をご利用になる方がいらっしゃいます。あらためて教職員の紹介をさせていただきます。

◇（拠点校）高井戸第四小学校

校長 本橋 忠旗

副校長 米山 美智子

◇高四小エリア特別支援教室教員

上野 暢之 大日向 錬 斎藤 憲司 小山田 駿
板垣 俊哉 高瀬 優衣 早川 宏

◇高四小エリア特別支援教室専門員

青木 陽子（高四小） 三輪 晶（桃三小）

岡田 実（井荻小） 西垣 みどり（松庵小）



子供たちにとっての特別支援教室

① 「安心感」と「信頼感」のある時間と空間

「見ててくれる」「聞いてくれる」「大事にされる」「褒められる」「認められる」ことで、安心感と信頼感をもつことができます。そのことで、「もっとやりたい」「もっと知りたい」「もっと関わりたい」という気持ちが芽生え、成長への意欲とエネルギーになります。

② 「その子なりの成長」「一人一人に合った学習」を大切にした支援

- 得意なことや好きなことをもっと追求し、認めてもらうことで、自己理解や自己肯定感が向上します。
- 苦手としていること、課題となっていることについて、担当教員と相談の上、「自分なりのやり方」を見つけて対応していきます。
- 個別ニーズに合った指導内容や方法で学習して、「できた！」「わかった！」という経験を積みます。
- 制作など努力した結果が目に見えるように支援することで、自分の頑張りに気づくことができます。

③ 人と関わる楽しさを味わいながら

「友達とうまくいかない」「集団活動ができない」・・・だから「ソーシャルスキルトレーニングで訓練しましょう」ではうまくいきません。まず「人との関わりが楽しい」「友達と楽しさを共有できる」ことを味わうことを土台とし、楽しい活動やコミュニケーションゲームを通して、対人スキルやマナー、状況理解、感情の気づきや調整などを身に付けていきます。

（裏面へ）

保護者、在籍学級、特別支援教室の連携

① 日課帳（ファイル）

- ・その日の指導の内容や様子をお伝えします。
- ・特別支援教室～保護者～在籍学級担任の三者で共有します。



② 保護者との相談

- ・随時、ご相談（電話、面談）に対応いたします。
- ・年間予定の中に「個人面談期間」を設定しています。

③ 在籍学級(在籍校)との連携

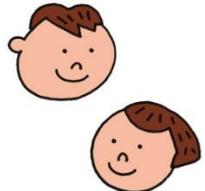
- ・拠点校の高井戸第四小学校特別支援教室教員が各校に巡回指導に訪れた際に、状況に応じて在籍学級の授業観察や担任の先生と打ち合わせをします。
- ・ふだんは、各校に常駐する「特別支援教室専門員」が各担任との連絡、授業観察、特別支援教室の環境整備、拠点校との連絡調整などを行います。

子供たち一人一人の発達の特徴、課題、ニーズ、願い、保護者の願いや思いを大切に生かし、専門的な指導に取り組んでいきます。

2学期の主な予定

※変更などある場合は、その都度お知らせ致します。

- ・8月25日(月)～9月 3日(水) 保護者個人面談（前期から通われている方）
※指導はお休み
- ・9月 2日(火) 2学期高四小エリア保護者研修会 15:00～16:00
(場所：高井戸第四小学校体育館)
- ・9月 4日(木)～12月23日(火) 2学期指導期間（各校該当する日）



◎小集団学習「みんなの時間」

第2週「表情と体の動きをよく見てコミュニケーション」

- ・人の表情やしぐさの変化に気付き、考えや気持ちを想像しようとすることができる。
- ・友達と話し合って相談しようとすることができる。
- ・いろいろな表情や動き作りを通して、ルールを守り、友達との関わりを楽しむことができる。

第3週「ダンボルック」

- ・友達と協力し合いながら取り組むことができる。
- ・場や相手の状況に応じて、自分の動きを変えることができる。
- ・ルールを守って、活動することができる。

第4週「仲間にはいるとき、ぬけるとき」

- ・その場の状況を考えられるようになろう。
- ・相手に対しての言葉かけを学ぼう。
- ・友だちの気持ちを考えよう。